

事前学習の様子と探検に向けての見通し

I. 総合的な学習の時間の学び

(1) 情報収集

至民中学校第1学年では、総合的な学習の時間を使って社南探検に向けた事前学習に取り組みました。社南公民館のウェブサイトおよび各地区の紹介マップ「ぶらり社南」を活用して情報を収集しました。



（小グループごとに収集した情報をお互いに教え合っている様子）



（エリアの紹介マップ「ぶらり社南」）

(2) キャッチフレーズを考える

収集した情報をもとに、その地区の特徴やそこで生活する人の様子をとらえ、自分たちなりのキャッチフレーズを考えました。「福町・福門エリア」については、次のようなキャッチフレーズが出来上がりました。探検する際は、これらキャッチフレーズに取り上げた施設や場所に注目するようにし、自分たちの予想や仮説が本当に正しかったかを確かめる視点で見学に臨むよう指導していきます。

＜生徒が考えた「福町・福門地区」のキャッチフレーズ＞

- 「金魚の達人」 「運動公園で健康に!!」 「身近なお店がたくさんあってのんびりできる所」
- 「かれない福町～流れ続けるわき水」 「ほっこりする町～花の湯と公園でゆったり～」
- 「町を守る守護神」 「おちついた景色の中運動する福町・福門～運動公園はほっこりする～」

※上記のキャッチフレーズは1～4組の各学級から出されたもの一部です。

2. 探検で地区を見学するにあたって

探検するコースの希望調査を行った結果、26名の生徒と担当教員1名が当日お世話になることに決定しました。このメンバーで改めて訪問する地区について調べ、次のように疑問や見学の視点を整理しました。

- ・金魚の絵を見てみたい。
- ・小林さんに金魚のことを直接聞いてみたい。
- ・そば処こはく庵が人気な理由を知りたい。
- ・わき水はどこからつながってわき出てくるのか。
- ・運動公園の無料施設はどのように経営が成り立っているのか。
- ・福町の神社に行ってみたい。
- ・足羽神社はなぜわざわざ山の中に建てたのか。
- ・町がどのように発展してきたか、歴史を知りたい。